

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

計画の名称	人でのぎわう、安全で快適な都市空間の創生												
計画の期間	平成28年度～令和02年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	岡山市												
計画の目標	自転車の利用環境や他の交通機関への乗り換え環境を整えることにより、自転車と公共交通が主体の交通システムを実現させ、人でのぎわう、安全で快適な都市空間を創生する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,284	A	1,223	B	0	C	61	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	4.75	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R3末)
1	市内の全事故件数(平成26年度 5,678件)に占める自転車関連事故件数(平成26年度 1,110件)の割合を16.5%に減少 岡山市内において発生する全事故件数に占める自転車関連事故の割合を調査する (平成32年度の市内自転車関連事故件数/平成32年度の市内全事故件数)×100(%)	20%	%	17%
2	自転車利用環境に関する市民満足度を50%に向上 市中心部の自転車利用に関わる満足度について、市民アンケートにより調査	10%	%	50%
3	市道錦町古京町線(県庁通り)における歩行者交通量(平成28年度 休日9h 4,236人)を4割増加 市道錦町古京町線(県庁通り)における歩行者交通量(休日9h)を調査する	4236人	人	6000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	都道府 県道	交安	主要地方道岡山停車場線	自転車走行空間整備 L=1,000m	岡山市	■	■	■			250		—	
	A01-002	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村 道	交安	岡山総社自転車道線ほか12路線	自転車走行空間整備 L=35,200m	岡山市		■	■	■	■	403		—	
	A01-003	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村 道	交安	岡山駅高架下第2自転車等駐車場ほか6箇所	自転車等駐車場整備 7箇所	岡山市		■	■	■	■	390		—	
	A01-004	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村 道	交安	市道錦町古京町線（県庁通り）	歩道拡幅ほか整備 L=290m	岡山市				■		180		—	
											小計						1,223			
											合計						1,223			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村道	交安	コミュニティサイクルポート整備事業	コミュニティサイクルポートの設置	岡山市				■	■	53		—	
		自転車走行空間ネットワーク整備と一体的に取り組み、安全で快適な「自転車走行空間」をより多くの人が利用し、利便性を認識してもらうことで、車から公共交通利用への転換等が期待できる。																		
	C01-002	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村道	交安	県庁通り賑わいづくり検討事業	ワークショップ等の実施	岡山市				■		8		—	
		市道錦町古京町線（県庁通り）のハード整備と一体的に取り組み、沿道事業者や地元の人々にも魅力と感じ、利用されることで、持続可能な中心市街地の賑わい創出と回遊性向上が期待できる。																		
											小計						61			
											合計						61			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	72	65	29	108	22
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	72	65	29	108	22
前年度からの繰越額 (d)	0	72	18	17	67
支払済額 (e)	0	119	29	58	73
翌年度繰越額 (f)	72	18	17	67	16
うち未契約繰越額 (g)	21	4	0	1	13
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	1	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	29.16	2.91	2.12	0.8	14.6
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関等の協議に時間を要したため				関係機関等の協議に時間を要したため

事前評価チェックシート

計画の名称： 人でにぎわう、安全で快適な都市空間の創生

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 岡山市都市交通戦略	○
I. 目標の妥当性 自転車先進都市おかやま実行戦略	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	○
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標は適合している	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 計画の目標と定量的指標は整合している	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は明瞭である	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 全ての要素事業は目標を達成するためのものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果見込みは妥当である	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 事業執行の環境は整っている	○

